

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## デンカ株式会社（証券コード:4061）

### 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- カーバイド系事業を発祥とする化学会社。中核の青海工場は、石灰石や水力発電所などの豊富な自社資源を有し、高い競争力がある。世界シェアトップのクロロブレンゴム（CR）、熔融シリカのほか、特殊混和材、食品包装材料、診断薬など幅広い製品を手掛ける。現経営計画では、事業ポートフォリオの変革を成長戦略の一つに掲げ、世界で競争力を有し、外部環境の変化の影響を受けにくいスペシャリティー事業の拡大に努めている。生産や研究開発のプロセス改革を通じた生産性向上にも注力している。
- 業績は底堅く推移する見通しである。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、幅広い産業で用いられるCRや自動車向け製品などの販売が減少しているものの、主力製品の競争力は総じて維持されている。電子部品・半導体分野向け製品が堅調なほか、景気感応度が低いワクチンや診断薬なども安定した需要がある。財務面では、利益の資本蓄積が着実に進んでいる。設備投資は以前に比べ高水準となる計画だが、良好な財務体質を維持できよう。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 21/3期の会社計画は売上高3,600億円（前期比5.5%減）、営業利益310億円（同1.9%減）である。当社の計画では、第3四半期以降はコロナ禍の影響が正常化する前提となっており、販売が想定より下振れする懸念はある。ただ、5G通信やデータセンターの需要拡大などを受け、球状熔融シリカファイラーなど関連製品が伸長している。また当社が高いシェアを持つアセチレンブラックや球状アルミナといった車両電動化に必要な製品や、この8月に発売した新型コロナウイルス抗原迅速診断キットの業績貢献も期待できる。中期的にもこれらの成長を通じ、一定程度のキャッシュフロー創出力を保てると考えられる。
- 21/3期第1四半期末の自己資本比率は49.8%である。近年の好業績を背景に、自己資本が2,500億円を超える一方、ネット有利子負債は1,000億円前後で推移しており、財務構成は良好である。現経営計画では、19/3期以降の5年間で計2,000億円の投資を行う計画であり、21/3期は470億円の投資を予定する。22/3期以降も積極的な投資が続くと想定されるが、数年単位で見れば、投資額は営業キャッシュフローの範囲に収まる可能性が高い。今後も安定した財務基盤を保てるとJCRではみている。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：デンカ株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2017年9月12日	2024年9月12日	0.270%	A+
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年4月23日	2025年4月23日	0.280%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2019年12月5日	2026年12月4日	0.230%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	600億円	2020年3月30日から2年間		A+	
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	250億円	J-1			

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020年10月9日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2012年3月26日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） デンカ株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### 用語解説

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル